



みんながつながり 夢を育てる学校に

国立二小だより

平成30年8月29日
国立市立国立第二小学校
校長 小林 理人

さらなる「飛躍」を期待して

校長 小林 理人

「2学期の飛躍」につながる夏休みの体験

再来年から本格実施される新しい学習指導要領へのスムーズな移行を視野に入れ、市内全ての小学校で夏休みを3日間短縮し、今日から2学期が始まりました。

先週は5年生の野外体験教室が行われ、「互いを思いやり、共に協力し合い、楽しい思い出をつくる。」というめあてを意識し、充実した日々を過ごしました。そして、楽しい思い出づくりだけではなく、これから二小のリーダーとなる大きな自信につながる有意義な経験ができました。「何をするのか、しおりを見ながら考え、友達と声を掛け合いながら余裕をもって行動する。」「苦手なことや分からないことは助け合ったり、教え合ったりしながら楽しい思い出をつくる。」ことなど、5年生のよさを様々な場面で発揮し、これまでの経験や学習を「飛躍」につなげる2日間となりました。

地域の盆踊りや先日新聞でも紹介された二松クラブには、今年もたくさんの子供たちが参加をしました。「みんながつながり夢を育てる」国立二小の夏の「がっこう」（楽校・合校）で、子供たちは普段の学校生活では味わえない貴重な体験をし、充実した時間を過ごしました。そして、体験を通して味わった達成感や自信が体いっぱい蓄えられました。それが、2学期への原動力となり、一人一人の大きな「飛躍」につながることを期待しています。

「未来への飛躍」 新しい学校づくり、校舎づくりがスタートします

国立二小の校舎改築に向けた「第二小学校改築マスタープラン連絡協議会」が設置され、2回の協議会が夏休み中に実施されました。初回では、学校建築学をご専門に全国の先進的な学校づくりに関わっていらっしゃる先生から、学校づくりの基本的な考え方についてお話を伺いました。先生からは、「夢の学校は、子供の夢の育つ学校です。そのためには教師の夢も育つ学校、そして地域の夢が育つ学校であることが大切です。何より大切なのは、学校づくりが学校に関わる皆で夢を語り合う場を通して実現されることです。」といったお話があり、新しい学校づくりに対する各委員の夢が膨らみました。

2回目の協議会では、多摩地区の3つの学校を視察し、新しい学校、校舎づくりのイメージをもつことができました。

「第二小学校改築マスタープラン連絡協議会」は学校関係者に加え、地域、保護者の代表の方、市民公募の方など事務局や長澤先生を含め15名の組織です。PTA文化担当から保護者代表として2名の方にご出席いただいています。本年度は、年10回の会議等が予定されており、学校づくりや新しい校舎のコンセプト、基本的な構想についての意見交換を行います。また、3月2日（土）には、保護者、地域の皆様への中間報告会を予定しています。

本日、保護者の皆様に配布した「新校舎建設に関するアンケート」は次回以降の会議で参考にさせていただくものです。子供たちや教職員にも同様のアンケートを実施し、二小の素晴らしい伝統をしっかりと未来に繋げていきます。そして、子供たちや教職員、保護者の皆様の夢を新しい学校づくり、校舎づくりに反映させ、未来に向けて更なる「飛躍」をめざします。